

検討状況

- 「府市場の将来のあり方検討調査」（令和2年度）及び、「再整備に関するサウンディング型市場調査」（令和3年度）における調査結果等を踏まえて、コンサルティング会社への業務委託を実施し、令和5年1月に民間資本の活用を前提とした建替え再整備の基本計画（たたき台）を作成
- 令和5年1月から、「再整備基本計画（たたき台）」を基に、場内事業者との協議を開始

1 再整備の基本コンセプト（令和2年度あり方検討調査報告書より）

食品流通の一大拠点として、ニーズに応え強みを活かした新たな市場をめざす

【戦略Ⅰ】 ～西日本の食品流通の核となるために～	府市場が持つ広大な敷地や交通の要衝に立地する等の強みを活かした、産地から選ばれる広域中継拠点市場（ハブ市場）化をめざす。
【戦略Ⅱ】 ～時代のニーズに応え続けるために～	川上（生産者）や川下（実需者）、ひいては消費者から求められるよう、行き届いた品質管理や衛生管理が施された生鮮食料品等を、顧客ニーズに沿って供給できる競争力を持つ市場をめざす。
【戦略Ⅲ】 ～常に必要な存在であり続けるために～	地域の公共インフラとして、いかなる場合においても市場機能が滞ることなく安定的な事業の継続性を確保するとともに、CO2の削減など環境にも配慮した市場をめざす。

2 主な検討項目

【検討方針】

- 施設規模は、**取扱数量や導入機能、施設配置、整備費、施設使用料等とのバランスの中で適正規模を検討**
- 施設規模の適正化や配置の工夫によって創出した**余剰地等を有効活用することで、将来にわたって府市場の自立的運営が可能となるよう検討**
- 市場施設の整備にあたっては、場内事業者の多種多様なニーズに的確に対応し、**効率的な市場運営が図られるよう整備主体（開設者・場内事業者）の役割分担を検討**

【検討項目】

■ 必要な機能等

- 広域中継拠点市場（ハブ市場）化**
・大量・多品目の集荷・荷捌き機能、ICT・IoT活用物流機能 等
- 高度な品質・衛生管理**
・コールドチェーン機能、冷蔵・保管・加工機能 等
- 府民に開かれた市場づくり**
・情報発信機能、一般消費者向け物販・飲食機能 等

■ 施設配置計画（ゾーニング）

- 市場施設の必要床面積の確保を図りつつ、余剰地の最大化が可能となるよう、**複数のゾーニング案を検討**

■ 施設規模

- 流通実態や取引形態等の変化を踏まえた**適正規模の確保**

■ 余剰地活用など

- 民間資本を活用し、**整備費の負担の最小化**及び**市場使用料の引上げ抑制**を図る
- 市場機能と余剰地に立地する民間施設が**相互に連携・補完することで市場機能（ハブ市場化等）の強化を図る**

■ 概算整備費と使用料

- 他市場事例や現地調査等を踏まえた事業費を積算**
- 整備費や市場管理費等をまかなうために必要となる使用料を試算**

■ ローリング工事計画・整備スケジュール

- 余剰地等（民間収益施設）を確保した上で、**営業しながらの再整備工事（ローリング計画）の実現可能性及び整備スケジュールを検討**